

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 7年 2月 15日

公表: 令和 7年 3月 21日

事業所名: 放課後等デイサービスLiebeふたごやま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		密になり過ぎないように、子どもの分散や配置を全員で心掛けている。	今後も利用定員に適したスペースを確保できるよう、努めて参ります。
	2 職員の配置数は適切である	7			今後も人員配置を遵守していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	5	ホワイトボードへ予定の記入や必要であれば職員が補助について補っている。	バリアフリーは玄関先の段差など適応していない箇所がある。必要に応じて対応していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7		学習スペース、遊ぶスペースを分ける事で過ごしやすい空間づくりを行っている。日々の清掃と消毒を徹底している。	今後も日々の清掃を徹底していきたいと思います。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		定期的に業務改善を図る為、会議を行っている。	今後も業務改善を進めるにあたって、PDCAサイクルに職員が参画を努めて参ります。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7		貴重な意見を頂き、支援に反映していく。	頂いた意見を基に、業務改善や支援の質を高めていきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7		改善に努めている。	今後も自己評価を実施し、ホームページで結果を公表していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2	帳票類の管理について、行政書士の指導が行われている。	引き続き、帳票類の管理について外部評価を必要に応じて取り組んで参ります。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		eラーニングの体制を整え、意欲的に研修を受けられている。	整えたeラーニングの体制を基に、今後も研修を行ってまいります。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7		五領域に沿った個別支援計画を心がけている。	今後もアセスメントを適切に行い、五領域に結び付けた支援計画の作成を心がけていきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7			今後も標準化されたアセスメントツールを活用し、お子様の状況把握に努めます。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			今後もガイドラインに沿って、支援内容を決定していきます。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			支援計画に沿って支援を行いつつ、場合によっては計画を見直して支援を進めていきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7		ジャンルごとに分担し、職員同士で意見を出し合いながら取り組んでいる。	今後も担当を分け、職員同士で意見を出し合いながら、活動プログラムの立案に取り組んでいきます。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		外部講師を活用したり、職員間でのプログラムの交代を行い、固定化しないような工夫をしている。	今後も固定化しない様、職員間で担当プログラムの交代を実施していきます。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7			毎日お子様の状況に合わせて、個別活動と集団活動を実施していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7		LINEWORKSなどを使い、随時情報の更新と共有を行っている。朝礼の時間を設けて確認を行い、来所児童が適切に過ごせるよう工夫している。	今後も随時情報を更新し、確認の時間を設けていきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	重要な情報はその日のうちに共有を行うようにしている。	引き続き、共有事項をLINEWORKSにて漏れなく共有できるように務めます。また、重要事項は口頭でも都度確認していきます。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7		HUGシステムで保護者との、LINEWORKSにて職員間での情報共有体制を築いている。	今後も記録を徹底し、支援の検証と改善に繋がっていきます。	

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			今後も職員全体でモニタリングに参画し、支援計画の見直しを実施していきます。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			現在、該当する事例はないが、今後機会があれば最もふさわしい者が参加していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		現在必要に応じて連携を図っていますが、今後より密に連携が取れる様努めて参ります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	2		現在該当者は居ないが、必要に応じて対応を図れるようにします。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5	2		現在該当者は居ないが、必要に応じて対応を図れるようにします。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		送迎時のやり取りなどで情報共有を図っている。	今後も送迎時のやり取りなどを通し、関係各所との関係構築に努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7			今後も関係各所との関係構築に努めます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		必要に応じて研修は受けているが、今後はより積極的な参加に努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	3	外出支援で公共の施設利用などを行うことで、障害のない子供たちとの交流の機会を作る。	今後地域参加型のイベントを開催予定しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	2		今後も積極的に参加できるよう努めます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		サービス提供記録や送迎でのやり取り、面談を通して、子どもの状況を伝えあっている。	今後も保護者様と密にコミュニケーションを図ることで、共通理解を持てる様努めて参ります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6	1	親子体験時に相談をお聞きしたり、保護者参加型グループワークを行っている。	今後も定期的に親子体験を開催し、ペアレントトレーニングの充足化を図っていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			契約時に運営規程や利用者負担について説明を心がけると共に、保護者様から不明点が上がれば迅速に回答することを心がけて参ります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			今後もガイドラインに沿った支援内容を丁寧に説明するよう心がけて参ります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		送迎、LINE、連絡帳のコメントのやり取りなど、常にやり取りしやすい環境を整えている。	今後も保護者様とやり取りしやすい環境を整え、必要に応じた助言と支援を行って参ります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1	親子参観など、定期的に行うことで、職員と保護者様との間で情報共有を行う場を設けている。	今年度から親子参観を実施し、保護者同士の連携を図っています。父母の会に関しては今後開催を検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7		お気軽にご相談頂けるように声掛けを行っている。ご相談があった際には職員間で迅速に共有し、全員で対応を考えて実践している。	今後も体制を整備するとともに、迅速な対応を心がけて参ります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7		行事予定を印刷し配布したり、SNSを活用した情報発信をしたりしている。	今後も定期的に情報発信を行って参ります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			今後もSNSを通じた情報発信では、個人情報の取り扱いに注意して参ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7		親御様やご家庭に合った連絡ツールや方法を取って、情報伝達に努めている。	今後もご家庭に合ったツールを用いて、情報伝達に努めます。

	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2		毎年開催している夏祭りの行事を、今後は地域住民も招待する形での開催を検討する。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7		各種委員会で定期的にマニュアルの見直し、訓練の実施をしている。防災マニュアルについてはHUGIにて保護者様に周知している。	今後も委員会を実施していくと共に、その他マニュアルも必要に応じて保護者様に周知して参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7		月に一回は必ず、活動プログラムに避難訓練を設けている。	今後も避難訓練を設け、災害に備えて参ります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7		アセスメントの際に必ず確認をしている。	今後も定期的に服薬などの子どもの状況の確認を徹底して参ります。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			今後も個々に合わせて適切に対応して参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7		月ごとにヒヤリハットを集計し事例集を作成し、会議にて共有をしている。	今後も事例集を作成し、会議にて共有して参ります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7		オンライン研修を取り入れて、研修を受ける機会を整備している。	今後もオンライン研修を活用して、研修を受けられる体制整備を維持して参ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7			今後も定期的に身体拘束指針を職員間で共有し、保護者様に説明した上で支援計画を作成して参ります。